

2009年2月17日

部会長;松尾新一郎(住化ブラジル)

08年の回顧と09年の展望

08年全般;

前半はほとんどの分野で好調に推移。10月以降も消費物資関連・農薬などは景気の悪化の影響は顕著ではないが、素材産業、中でも輸送機器(自動車・二輪車など)に関連する業種は急速に業績が悪化した。

09年全般;

これまで、輸送機器とアグロに関連する分野は快進撃であったが、売上・利益ともに増加を見込まれるのは14分野のうち6分野で半数に達せず。

更に、相変わらず売上減少が5分野、利益減少が4分野で見込まれている。

消費物資関連はカーナバルあけの3月までの状況を見なければ、予想がつきにくい面がある。

1. 写真・デジタルカメラ (移転価格税制問題あり)

08年;

売上減少、利益は10月以降のリアル安を小売価格に転嫁できず販売数量は維持したものの、採算が大幅に悪化し大幅減少。

デジカメ市場の急速な伸長、プリント市場の多様化などプラス要因はあったが、為替の急落、リアル高(前期)による輸出採算悪化、フィルム市場の収縮加速などがマイナス要因。

09年;

売上・利益ともに増加を見込む。

為替の販売価格への転嫁の浸透、現地生産による競争力アップ、デジカメの普及によるプリント市場の拡大を見込む。一方、先行き不安による設備投資を見合わせ、為替の販売価格への転嫁が十分にできるかなどが懸念材料。

2. 筆記具

08年;

売上・利益ともに増加。

8月までの好景気、リアル高による輸入部品のコストダウン、輸入新製品の販売拡大などで絶好調であった。ただ、10月よりのリアル安で輸入品のコストアップで若干悪化。

09年;

売上・利益ともに増加を見込む。

新製品の上市(輸入・国産品)、テレビCMの実施。リアル安による輸入価格の高騰、金

融不安による資金繰りの悪化（流通業者、中小店）が心配。

3. 高級化粧品

08年；

売上・利益ともに増加

マーケティング投資をS PとR Jの高級店に集中し、富裕層を対象とした価格体系であることから10月からの世界不況の影響はほとんどなし。ただ、レアル安による商品コストがアップし、相変わらずの税関ストによる輸入品入荷遅れに伴う新製品販売時期のズレが生じた。

09年；

売上・利益ともに増加を見込む。

富裕層対象のため不況の影響はないと思われるが3月位まで状況を静観しないと何とも言えない。レアル安によるコストアップと通関トラブルの可能性がマイナス要因。

4. 一般用医薬品

08年；

売上は増加、利益は減少。

テレビCMを増やし、新製品が伸長。

レアル安による輸入原材料のアップと為替の差損、医薬品卸・ドラッグチェーンの資金繰りの悪化・在庫圧縮などがマイナス要因。

09年；

売上は増加、利益は減少

広告投資は継続するが、レアル安・広告規制の強化がマイナス要因。

5. 家庭防疫薬

08年；

売上・利益ともに増加。

生活レベル向上やデング熱・黄熱・マラリア汚染地区でのBolsa Familiaで防虫剤も。

09年；

売上・利益ともに減少。

南部でのラ・ニーニャ（低温・多雨）で蚊の発生が少なく、前年よりの在庫調整やジェネリック品の圧力などのマイナス要因がある。

6. 農薬

08年；

売上・利益ともに増加。

農薬を多量に使う棉作面積の激減や製造コスト増があったものの、年初の高い国際穀物相場で栽培面積が拡大し、市場は07年の53億ドルの規模から70億ドルと大幅に拡大した。

一方、10月以降キャンセルが発生し、支払い遅延問題が一気に発生した。

09年；

売上・利益は原体メーカーが減少と見込むが、製剤・販売会社は増加を見込む。

市場規模は63億ドルまで縮小予想。

昨年分の在庫調整や農業融資の大幅減により資金不足、ジェネリック品や海賊品の対等などがマイナス要因。

7. 肥料

08年；

売上増加、利益減少。

9月まで製品価格は上昇したが、10月からのリアル安で利益は減少。

09年；

売上・利益ともに減少。

農産物価格の低下と農家への銀行融資の引き締めで、先行きは暗い。

8. 種子（野菜・花）

08年；

売上・利益ともに増加。

10月以降為替差損により利益は圧迫されたものの、欧州向けメロン種子の販売が大幅増、新規商品の投入の成功もプラス要因。

09年；

売上・利益ともに増加。

欧州向けの販売は不安がともない、聖州の玉ねぎ栽培の作付け減はあるものの、野菜種子市場は安定しており、新規商品の売上増を見込む。

9. 飼料添加物

08年；

売上・利益ともに増加

原価の2倍以上の高騰にもかかわらず、販売価格の強行値上げを敢行。

8月までの為替差益は9月以降の急激なリアル安で通年差損となった。

09年；

売上・利益とも変わらず。

リアル安も輸入価格のアップに繋がる。また供給の減少も見込まれる。

10. 接着剤

08年；

売上・利益ともに微増。

10・11月からの輸送機器用販売の大幅減少や為替差損が発生したが、10月までの輸送機

器用・大衆向け接着剤の国内販売の好調に救われた感じ。

09年；

売上・利益ともに変わらず。

国内の工業製品（輸送機器）向け販売の減少や為替の差損のマイナス要因があるものの、大衆向け接着剤の販売増加と輸出の増加を見込む。

1 1. プラスチック樹脂用着色剤

08年；

売上・利益ともに減少。

年初の好調も、輸送機器向け販売の急減とリアル安による為替差損の増加により通年で減収減益となった。

09年；

売上減少、利益は微増。

為替差損の減少とリストラによるコストダウンを見込むが、全般的経済活動が低調で、輸送機器向けの販売回復には時間がかかりそう。また、債権回収への不安が残る。

1 2. ポリオレフィン発泡体（合成スポンジ）

08年；

売上は微増なるも利益は大幅減。

9月までは自動車向けに好調であったが、市場環境の急激な悪化と、品質・生産性の問題が発生し、コスト増となった。

09年；

売上は微増、利益は増加を見込む。

自動車産業への販売比率が高いが、品質・生産性の改善と安定化が進み、原料コストの低減、新事業の導入などにより利益増加を見込む。

1 3. ロジン・テレピン油、製紙用サイズ剤、塗料・接着剤用樹脂（ロジン変性樹脂）

08年；

売上減少、利益大幅減少。

製造コストの上昇に競争激化による販売価格の減少というダブルパンチ。

09年；

売上・利益ともに更に減少。

世界的な景気後退でさらに市場が縮小・競争の激化が予想される。

更にリアル安のため、輸入原材料のアップが見込まれる。

1 4. 商社（4社）

08年；

取扱い品目により売上・利益ともに増加から横ばい。

前半の国内需要が好調であったことと、農産品価格高により農業関連の増加があった。

しかし10月以降の急激な内需の落込みと、日本向けエタノールの輸出が減少した。

09年；

売上・利益ともに変わらずから減少と見る。

内需の急速な落込みは続くものと思われるが、アジア景気悪化による余剰玉の取り扱いチャンス拡大とも見込む。